



職業選択に資する情報

令和3年9月

原子力規制委員会 女性職員活躍・ワークライフバランス推進本部

職員の採用

新規学卒者の採用

新規学卒者採用数の推移

		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		人数	うち女性	人数	うち女性	人数	うち女性	人数	うち女性	人数	うち女性
総合職	(事・技)	4	1	4	0	6	4	4	0	2	0
一般職	(技術系)	11	1	12	3	9	0	7	4	8	4
一般職	(事務系)	1	0	6	3	7	3	7	3	14	4
研究職		3	1	3	0	7	2	4	3	5	2
合計		19	3	25	6	29	9	22	10	29	10

※当該年度の採用内定から翌年度の4月1日までに採用した人数

総合職・一般職試験に加え、原子力規制庁独自に「原子力工学系職員採用試験」「研究職選考採用試験」を実施し、毎年20～25名程度を採用したいと考えています。

職員の採用

新規学卒者の採用(2)

女性職員の採用割合の推移

平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
15.8%	24.0%	31.0%	45.5%	34.5%

※準ずる試験、研究職選考採用を含んだ全数の割合

※当該年度の採用内定から翌年度の4月1日までに採用した人数に基づく

技術系職員の割合が高いことなどから女性の応募者がやや少ない傾向にあり、そのまま採用割合に影響が見られていました。しかし、着実に女性の応募も増えており、令和2年度の新規採用者全体でも目標とする30%を超えました。

引き続き、原子力規制庁では性別や専攻にこだわらない人物本位の採用を行っておりますので、皆さんの積極的な応募をお待ちしています。

職員の採用（２）

経験者の採用

原子力規制行政の充実・強化を図るため、実務経験者の採用を継続的に行っています。配置は経歴や専門性を踏まえて決定します。

採用した女性職員の業務の例

（技術系職員）

- 新規制基準に基づく安全審査
- 核物質の管理等に係る I A E A 査察対応
- 規制基準の策定のための調査・研究業務 など

（事務系職員）

- 法務、広報、会計
- 人材育成のための研修に係る業務 など

女性職員の登用の状況

役職段階に占める女性職員の割合

指定職級	課室長級	課長補佐級	係長級
0%	4.2%	10.2%	26.3%

(令和3年4月1日時点)

令和3年4月1日時点の全職員における女性割合は約16.1%です。

原子力規制庁は設立時の人員構成などから、課室長級以上の女性職員はまだ少ない状況です。

将来に向け、能力・意欲のある女性職員に対し、人事評価に基づく適切な昇格を行うとともに、研修受講や国際機関への派遣等の機会の付与など、積極的な女性登用を進めています。

仕事と家庭の両立

育児休業取得率

(令和3年3月31日時点)

女性	男性
100%	33.3%

取得期間の分布状況 (令和3年3月31日時点)

取得期間	女性	男性
1月以下	0%	20%
1月超3月以下	0%	60%
3月超6月以下	0%	20%
6月超9月以下	50%	0%
9月超12月以下	0%	0%
12月超24月以下	0%	0%
24月超	50%	0%

職員のワークライフバランス推進の一環として、国家公務員の妊娠・出産・育児などに係る両立支援制度を利用しやすい職場づくりを進めています。

このほか、フレックスタイム制やテレワーク等の制度利用推進及び環境整備に取り組んでいます。

仕事と家庭の両立

男性の配偶者出産休暇等取得率

(令和3年3月31日時点)

	取得率	平均取得日数 (実際に取得した者の 平均日数)	平均取得日数 (取得可能な者全 体での平均日数)
配偶者出産休暇	80.0%	1.9日	1.5日
育児参加のための休暇	73.3%	4.6日	3.4日
両休暇合計5日以上取得	73.3%	6.5日	4.9日

男性職員の育児休業取得や配偶者出産休暇等の取得への意識も定着してきています。計画的な休暇取得促進のための周知を行うなど、職場として職員をサポートする取り組みを行っています。

女性が活躍できる職場を目指して

- 原子力規制の実施や安全のための調査・研究に、女性としての感覚や視点が重要
- 原子力工学のみならず、さまざまな技術分野が活躍できる総合科学である原子力分野、また、採用後も継続的に行われる人材育成が充実
- 上司や幹部との距離が近い・垣根の低い、風通しの良い職場
- 仕事と生活、育児・介護等の両立を支援する制度を積極的に活用
男女にかかわらず、フレックスタイム制、テレワークなどが浸透しており、ワークライフバランスを推進している
- 様々な来歴を持つ職員とともに、広い視野を持つ組織文化を構築中